

チャレンジ鹿児島労働局（22年7月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町13-21

TEL 099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

6月の有効求人倍率は0.45倍で

前月を0.02ポイント上回る

鹿児島県の6月の有効求人倍率(季節調整値)は0.45倍となり、前月(0.43倍)を0.02ポイント上回りました。

新規求人倍率(季節調整値)は0.77倍となり、前月(0.69倍)を0.08ポイント上回りました。

新規求人数は前年同月比16.7%の増と5ヶ月連続の増加となりました。

産業別では、建設業(3.9%増)は5ヶ月連続の増加、製造業(51.4%増)は9ヶ月連続の増加、運輸業、郵便業(25.1%減)は5ヶ月ぶりに減少、卸売業、小売業(14.3%増)は4ヶ月連続の増加、宿泊業、飲食サービス業(1.9%増)は4ヶ月連続の増加、医療・福祉(27.4%増)は5ヶ月連続の増加、サービス業(26.4%増)は8ヶ月連続の増加となりました。

新規求職者数は前年同月比1.7%の減と4ヶ月ぶりに減少となりました。

新規常用求職者の態様別では、在職求職者(17.0%増)は4ヶ月連続の増加となりました。また、離職求職者(6.1%減)は3ヶ月連続の減少、無業求職者(3.7%減)は8ヶ月ぶりに減少となりました。

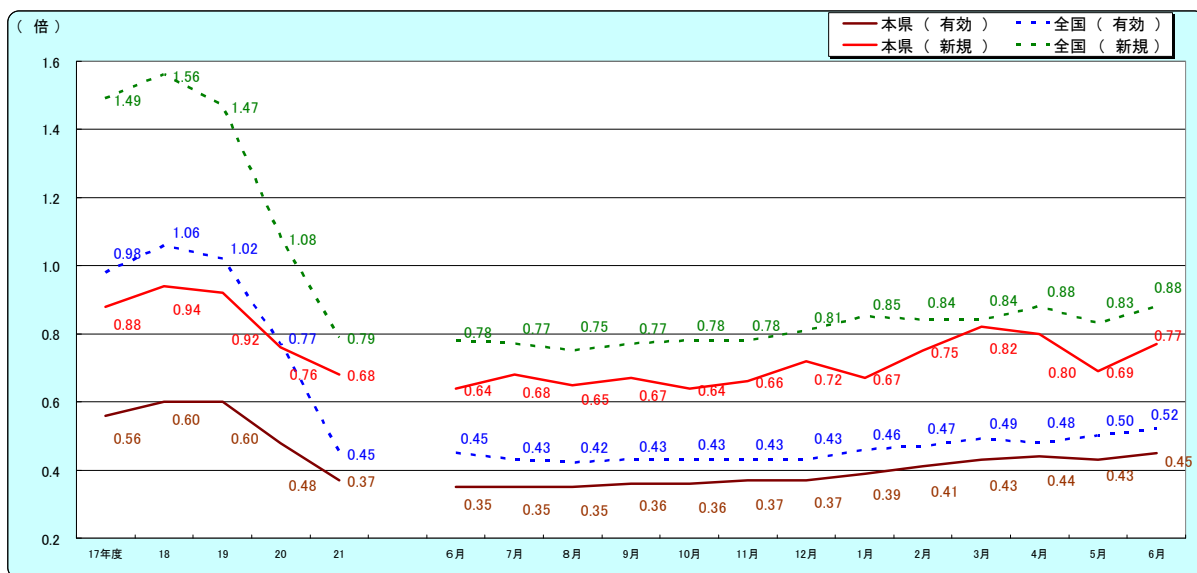
離職求職者の内訳では事業主都合離職者(15.9%減)は7ヶ月連続で減少し、自己都合離職者(2.0%減)は5ヶ月ぶりに減少となりました。

政府の7月の月例経済報告では、景気の基調判断を、「着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。」と先月の基調判断を据え置きました。一方、雇用情勢については依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられると報告されています。

鹿児島県の雇用情勢は、新規求人は先月と同様、製造業の一部を中心に持ち直しの動きが見られるものの、一部の産業では、緊急雇用対策事業求人の下支え効果等もあって増加していることから、全面的に景気回復による安定的な求人増とは判断し難いところである。一方、新規求職者数は前年同月比で減少し、有効求職者数も前年同月比で5.0%減少しているが、5万人を超える高水準で推移していることから、今後の動きについては、引き続き注視が必要と思われます。

鹿児島労働局では厳しい雇用情勢の下、雇用のセーフティネットとして、緊急的な支援措置、緊急雇用創造プログラムの推進を柱とする緊急雇用対策を積極的に活用し、雇用維持や再就職支援等に取り組み、今後とも一層効果的な行政の展開に努めて参ります。(職業安定部職業安定課)

有効(新規)求人倍率の推移



平成22年度上半期死傷災害発生状況を発表

全産業における今年6月までの休業4日以上之死傷災害の発生状況を見ると、平成22年度の上半期の死傷者数は727人で、昨年の上半期626人と比べ101人の増加となった。

増加が目立つ業種は、食料品製造業(前年対比プラス11人)、土木工事業(同プラス15人)、運輸交通業(同プラス20人)、保健衛生業(同プラス13人)、接客娯楽業(同プラス19人)及び通信業(同プラス13人)である。

また、全産業における死亡者数は9人となり、昨年の上半期より2人の増加となった。

なお、7月26日現在では、死亡者数は13人となっており、昨年1年間の発生件数12人を既に上回った。

増加している業種に対しては、指導・啓発等を重点的に実施することとしている。

(労働基準部安全衛生課)

平成22年 業種別死傷災害発生状況(6月末)

鹿児島労働局

業種	平成22年		平成21年		増減数	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	727	9	626	7	101	2
鉱山保安法適用を除く	725	9	626	7	99	2
製造業	159	1	158	1	1	
食料品	95	1	84	1	11	
木材・木製品	9		9			
窯業・土石製品	7		12		-5	
金属製品	11		12		-1	
機械器具	12		14		-2	
上記以外の製造業	25		27		-2	
鉱業	3	1	1		2	1
鉱山保安法適用事業	2				2	
土石採取業	1	1	1			1
建設業	95	2	89	3	6	-1
土木工事業	53	1	38	2	15	-1
建築工事業	32		45	1	-13	-1
その他の建設業	10	1	6		4	1
運輸交通業	93	2	73	1	20	1
貨物取扱業	9		10		-1	
林業	30		37		-7	
上記以外の事業	338	3	258	2	80	1
商業	82		73	2	9	-2
保健衛生業	58		45		13	
接客娯楽業	48		29		19	
清掃・と畜業	26	1	31		-5	1
上記以外の事業	124	2	80		44	2

- ① 死傷者数は、平成22年6月末までに発生した労働災害の被災者を本年7月7日締めで集計したものです。
- ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
- ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。

UIターンフェア “かごしま” &

県内就職合同面接会を開催します！

鹿児島県へのUIターン希望者及び県内への就職希望者を対象とした「UIターンフェア“かごしま”&県内就職合同面接会」を開催します。

昨今の景気後退の影響から今春卒業の学生の就職決定率は最近5年間で最も低く、来春卒業生の求人も今年以上に厳しい状況が見込まれる現状を打破するためにも実施します。

○ 日時 平成22年8月12日(木)

12時30分～16時30分(受付12時～15時)

○ 場所 鹿児島サンロイヤルホテル (鹿児島市与次郎1-8-10)

求職者の方へ

対象は、鹿児島県内へのUIターンを希望される方及び県内への就職を希望される方です。来春卒業予定の大学・短大・専修学校生等も参加できます。参加料は無料です。事前の申込は必要ありませんが、面接の際は履歴書が必要です。

参加企業 参加企業及びその企業の概要は、県のホームページに掲載されています。

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/ui/annai/uifea.html> ヘルプ

(職業安定部職業対策課)



来春の高等学校卒業予定者は今回のUIターンフェア、就職合同面接会には参加できませんが、求人は平成22年6月末現在では、以下のとおり、厳しい状況にあります。是非、高校生の採用をご検討ください。

【求人】 県内求人数 421人(県内のハローワークで受理した求人数)

(前年同月比-76人、15.3%減、前々年同月比-524人、55.4%減)

【求職者数】(平成22年5月15日時点求職動向調査)

学校・安定所による紹介希望求職者数

5,262人(前年同月5,437人、175人減)

県内 2,652人

県外 2,610人

卒業予定者数 17,700人

(195人減)

県内希望割合 50.4%